

健康生活支援看護学特論

2 単位

Theory of orthobiosis support nursing

多田 敏子・教授/保健学専攻, 田村 綾子・教授/保健学専攻, 岸田 佐智・教授/保健学専攻, 葉久 真理・教授/保健学専攻

【授業目的】地域で生活するあらゆる健康レベルにある母子・成人期および高齢者等の QOL 向上を支援するための第一次予防から第三次予防までの看護およびケアシステムに関する理論について理解できる。

【授業概要】地域で生活するあらゆる健康レベルにある母子・成人期および高齢者等の QOL 向上を支援するための第一次予防から第三次予防までの看護およびケアシステムに関する理論について教授する。

【キーワード】生活の質, 健康増進, 生活, 看護介入

【先行科目】『保健学特論』(1.0)

【関連科目】『地域生活支援看護学特論』(0.5), 『回復支援看護学特論』(0.5), 『女性支援看護学特論』(0.5)

【履修上の注意】事前学習をして主体的に参加すること

【到達目標】人々が健康な生活を維持するために看護職の果たす役割を見出だす

【授業計画】

1. プライマリヘルスケアの理念 (多田)
2. ヘルスプロモーションの理念 (多田)
3. QOL 評価 (多田)
4. (親になること)の移行 (transition) に関する概念 (岸田)
5. リプロダクティブヘルス・ライツに関する理念 (岸田)
6. 女性のライフサイクル上の危機的状況 (岸田)
7. 女性とエンパワーメント (岸田)
8. 女性の健康とケアモデル (葉久)
9. 妊娠・出産における効果的ケア (effective care)(葉久)
10. 助産実践の費用対効果分析 (葉久)
11. 助産における意思決定 (葉久)
12. 生活の再構築のためのリハビリテーションの理念 (田村)
13. 回復感覚に関する概念 (田村)
14. 生活支援と ADL 評価 (田村)
15. 急性期・回復期・維持期を貫く二次障害予防のためのケア方法 (田村)
16. 試験

【成績評価】課題レポート, 筆記試験などにより行う

【再試験】再試は 1 回のみ行う

【教科書】適宜資料を準備する。あるいは指示する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216973>

【連絡先】

⇒ 多田 (保健学科棟 3 階, 088-633-9033, tada@medsci.tokushima-u.ac.jp)

MAIL (オフィスアワー: 火曜日 16:00-18:00)

⇒ 岸田 (088-633-9032, skishida@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月 17:00-19:00)